

令和3年
2月
17号

自立からの風 だより

発行

障害者支援施設 自立生活訓練センター

兵庫県神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727 FAX 078-925-9229

自立生活訓練センター

自立生活訓練センター 自立生活訓練部長 篠山 潤一

仕事に向き合う

令和二年度、自立からの風だより「発刊にあたり、ご挨拶および私の感じたことや考えなどをお伝えするとともに、この一年を振り返りたいと思います。」

昨年、四月に自立生活訓練センターの施設長となりました篠山潤一（ささやま じゅんいち）と申します。理学療法士として総合リハに入職し、三度目の自立生活訓練センターに異動して参りまして三年目を向かえました。

施設長として初めての新年度を、コロナウイルス対策、大規模改修という通常では、向き合えない事に職員はじめ、利用者の方々とともに向き合うこととなりました。

私たちの日常生活において、これまでの「あたりまえ」が変化するだけでなく、新型コロナウイルス感染症の猛威は、日々の生活様式を変化させるとともに、様々な新しいルールを生み出しています。その中でも、施設を退所され社会生活に戻られる方々と、施設生活を新たに始められる方々がいらつしやいます。自立生活訓練センターは、入所者の方々とともに様々な困難に対して動き続けてきた訳ですが、大規模改修やコロナ対策などにより、充分なサービスの提供が出来てきたのかを考え続け、あつという間に一年が過ぎていく感覚でした。

利用者の皆様も、ある日突然の発症や事故等により、これまでの「あたりまえ」が大きく変化した経験をお持ちですが、その変化にしっかりと向き合い、多くの課題や困難に対して、結果を出そうと日々訓練に取り組まれています。

「障害受容」という言葉がよく用いられますが、皆さんは障害を克服されたから、現在があるのでしょいか。受容という意味で障害を受け入れたのではなく、多くの困難な課題に対して、しっかりと向き合うことで、その都度、何らかの結果を出していく手段を得るために、自立生活訓練センターを利用されており、その結果を一緒に考え支援するため、我々が関わらせていただいているのだと私は考えています。

向き合うことを避ける、蓋をする、このようなことを繰り返しても、何も結果が生まれません。その時々場面や状況に合わせて、向き合うからこそ、結果を出すことができると思うからです。職員一同、皆様の思いや、その変化にしっかりと向き合い、多くの課題や困難に対して、自立生活訓練センターとして、今後もお手伝い出来るよう、皆様に活用いただける施設づくりを目指して参ります。

最後に、我々が向き合う仕事は、人です。仕事が新たな仕事を教えてくれます。人と人の繋がりと意識の高さで、現在の危機に向き合えているのも、利用者の皆様の理解と協力のおかげです。あらためて敬意と感謝を込めまして、ご挨拶に代えさせていただきます。



令和二年度 自立生活訓練センター事業計画

多様なサービスの展開と充実

○介助犬及び聴導犬認定事業の実施

介助犬等の認定指定法人、訓練事業者として適正に認定事業を実施し、介助犬等の普及促進を図る。

福祉、医療関係者を対象とした施設見学会において、制度や施設機能についての情報提供

・日本介助犬協会主催や、国立障害者リハビリテーションセンター学院主催の研修会等に参加することで、身体障害者補助犬を取り巻く環境等に関する最新情報を習得。

○高次脳機能障害者への支援体制強化

高次脳機能障害者の社会復帰に向けた自立訓練サービスの支援内容や訓練内容（評価等含む）を再構築しサービスのさらなる充実を図る。また、総合リハ内において高次脳機能障害者の支援の流れを再構築することで、兵庫県における高次脳機能障害支援拠点としての役割を強化する。

○全国リハビリテーション・ケア研究大会

兵庫二〇二二の開催に向けた準備委員会および大会事務局の設置
地域包括ケアシステムの推進に向けた地域リハビリテーション等関連団体の合同学会を兵庫県で開催するため、準備委員会および大会事務局を自立生活訓練部に設置する。

大会日程等

大会名：リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫二〇二二
開催日：令和三年一月一八日（木）～一九日（金）
場所：ANAクラウンプラザホテル、神戸芸術センター

堅実な運営の継続

○今後の事業展開を踏まえた大規模修繕の実施

・訓練や生活環境の充実及び修繕
・老朽化した設備等の更新

リハビリテーション・ケア Mind
合同研究大会 兵庫 2021

会期 2021年11月18日（木）・19日（金）
会場 ANAクラウンプラザホテル神戸 神戸芸術センター

名譽会長 澤村 誠志 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 顧問
会長 大串 幹 兵庫県立リハビリテーション中央病院 院長補佐
総合リハビリテーションセンター 自立生活訓練部 参事

Let's integrate!
～リハビリテーションの心技体～

退所者進路

こちらは、二〇一八年四月から二〇二〇年三月までに退所した利用者全体の就労率となつています。一五三人退所され五一人が就労につがっています。

	復職就業	就労継続 A	就労継続 B	就労移行	合計
人数(名)	34	6	8	3	51
割合(%)	22.2	3.9	5.2	2.0	33.3

プログラム紹介！

坂道・ロード

ロード訓練は、毎週火曜日ニコマを使用して近隣の王塚台公園と野々池に外出します。
坂道訓練は、毎週木曜日ニコマを使用して坂道の上下りの訓練をしています。
いずれも夏季冬季の季節を問わず実施していますので、確実に体力持久力が向上します。



レクリエーション スポーツ

週に一回利用者の余暇活動として利用者の希望のスポーツを行うプログラムです。
主にボッチャ、卓球、ゴロ卓球、バドミントンなどを行っています。
この時間からスポーツ競技に発展している利用者もいます。



自動車運転訓練

当施設では病気、ケガにより障害を負われた方の運転再開を応援しています。
入所される皆さんの七割が自動車運転再開を希望されており、退所時には自家用車で自宅に帰えることを目標に頑張っておられます。



立位トレーニング

立位を保持することができ、筋力や体幹などに課題のある方に向けた、筋力や体力の向上を目的としたプログラムになっています。
筋力トレーニングや体幹トレーニング等、様々なことを行っています。



プログラム紹介2

高次脳プログラムA へ遂行機能V

受傷後、計画的な行動が苦手になった方対象として実施しています。特に復職・新規就労間近の方が主に参加されておりグループ作業にて訓練実施しています。

高次脳プログラムB へ注意力V

注意力の向上のため、時間配分を考えながら、周りの状況に気を配り、沢山のものの中から、必要なものを見つけ出し出す等、訓練内容を提供しています。
いろいろな作業を、集団訓練で行う事で、他者との違いや、ヒントを見つけていけるよう取り組んでいます

発声練習

発声練習は症状別に行います。火曜は失語症、木曜は構音障害と分けています。ウォーミングアップで口を動かし、全員で本読みをします。話せるようになるという目標に向かい精進するので応援よろしくお願いします。



PT/OT訓練

利用者の方の日常生活動作等の能力獲得に向けて身体機能の向上を目的に実施しています。個々の課題や目標を設定し、自主的に取り組む姿勢を養えるよう理学療法士と作業療法士がサポートしています

調理訓練

退所後、単身生活・家庭復帰等、調理が必要な方に対して行います。事前の計画から買い物評価を行い、作業手順・技術面・栄養面といった色々な視点から、支援員をはじめ作業療法士、栄養士のアドバイスを受け訓練を実施しています。



プログラム紹介3

カラオケクラブ

カラオケクラブは、ふれあい会館の一室で行っています。この六月から、訓練課専用のカラオケセットで、曲選びがしやすく、より楽しめるようになっていきます。ソーシャルディスタンスに配慮しながら楽しく実施していきますので、皆さんご参加お待ちしております！

園芸クラブ

園芸クラブでは、季節に合わせた花、野菜を育てています。この夏はキュウリやオクラ、トマト、ピーマンを育てました。育てた野菜はクラブメンバーで調理しておいしくいただきます。



美術クラブ

美術クラブでは、季節にちなんだ壁画を作成したり、好きな絵をかいたりしています。美術館への応募し、皆で、自分たちの作品の展示を見に出かけたりもしています。

書道クラブ

書道クラブでは、筆を使用して文字を書く習字を行っています。受傷してから、文字を書く事などあきらめていた方もあり、大きな文字をゆっくり書いてみるなどチャレンジしてみてください。



新任・異動 職員紹介

支援課長 飯塚 哲也



福祉管理部から4月に転入しました。自立生活訓練センターの勤務は4年ぶり8年目の勤務となります。皆様の訓練目的が実現できるよう、元気いっぱい頑張ります。よろしくお願い致します。

事務 石井 真理子



今年8月に入職しました。前職は、アパレルの販売員をしていました。事務の仕事は初めてですが、笑顔でがんばります。よろしくお願いします。

支援員 角野 浩三



万寿の家から4月に転入しました。当センターでは3度目の勤務となり、ご縁を感じています。日々、利用者の方々から訓練に励む姿に接して、支援員の私の方が成長させていただいています。かけがえのない環境で勤務できることに感謝しています。よろしくお願いします。

支援員 松井 悠介



今年度より配属となりました松井です。今までは赤穂精華園や西播磨総合リハビリテーションセンターなど西播磨圏域にいました。自立生活訓練センターでの勤務は初めてですが、どうぞよろしくお願いします。

支援員 西本 紗弥子



今年4月に自立生活訓練センターに入職しました。ずっと京都市内で働いていて生まれて初めて神戸に来ました。いろいろな職種を経験してきたので、それを活かしつつ新たにたくさんのことを学び支援できたらと思っています。

支援員 藤田 早希



体育指導課から異動してきました。こちらでは支援員としてですが、体育指導員としての仕事も活かしていけたらと思っています。よろしくお願いします。

新任・異動 職員紹介

支援員 窪田 七海



4月に自立生活訓練センターに就職しました。社会人1年目で分からないことや不安なことが多いですが先輩方に教えていただきながら知識や技術を身につけて皆さんをサポートできるようがんばっていききたいと思います。

支援員 酒井 明美



万寿の家から4月に異動してきました。利用者様の訓練に励む姿に刺激されともに成長させていただいております。訓練が楽しく行える環境作りを心がけ、利用者様本位の支援に取り組んで参りますので宜しくお願いします。

支援員 加藤 容子



4月に自立生活訓練センターに就職しました。以前は神戸の病院で介護士として勤務していましたが、違う環境で働く事の難しさを実感しています。先輩支援員や利用者の方々に助けてもらいながら成長して行けたらと思います。

支援員 吉野 菜摘



6月より中央病院から異動してきた吉野です。忘れっぽく抜けているので迷惑をお掛けすることもよくある事と思いますが、微力でも皆様のお役に立てるように、一生懸命頑張ろうと思うのでよろしくお願いします。

看護師 宮本 恭子



中途採用で昨年の11月に入職しました。皆様の暖かいご支援のもと、沢山の事を勉強させて頂いております。今後も日々努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

作業療法士 大賀 隆正



リハビリテーション中央病院より異動してまいりました。作業療法士の大賀隆正です。病院とは違った環境・流れの中で日々勉強させていただいています。新たなチャレンジも行いながら、利用者の皆様の力になれるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします！

作業療法士 清水 有貴子



中央病院から異動して参りましたOTの清水です。訓練課での新たな出会い、出来事に毎日気が引き締まる思いです。初心を忘れずに何事も一生懸命取り組んでいきたいと思っています。皆様よろしくお願い致します！

理学療法士 田村 晃司



リハビリテーション中央病院より異動してまいりました、理学療法士の田村晃司です。利用者の皆様が訓練へ積極的に参加し努力をされている姿に日々刺激をいただいています。皆様の力になれるよう日々努力していきます。よろしくお願いします。



大規模改修工事

現在、自立生活訓練センターでは開所から二五年の年月が経ち、建物や設備の老朽化から大規模改修工事を行っています。利用者の皆様には工事期間中、大変ご迷惑をおかけしおり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。改修によりきれいになった施設の様子をお届けします！



浜坂温泉保養荘



浴室においては、個浴を以前よりも多く設置しより自宅環境に近い環境での入浴練習が可能となりました。



二年ぶりの自立からの風だより発行となりました。新任、転入職員を含めた新しいチームで利用者様を支えていきたいと思えます。その様子や取り組みの内容をお伝えしていきますので、みなさんぜひご覧下さい。

編集後記

随時
ご相談・ご見学対応しております。

下記まで
お問い合わせください

TEL 078-927-2727
FAX 078-925-9229
Web <https://hwc.or.jp/jiritsu/>

施設のご利用について